

主務課：地震火山部地震津波監視課		関係課：地震火山部管理課		
業績指標名		単位	現況値（時点）	目標値（年次）
震度情報の精度 （推計した震度と実際の震度との合致率）		%	（ 5 0 ） （平成 12 年度）	7 0 （平成 18 年度）
関連アウトカム目標（関連施策等） 災害による被害の軽減（地震に関する監視・情報の充実・改善）				
<p>業績指標の解説</p> <p>「震度情報の精度（推計した震度と実際の震度との合致率）」とは、地震発生直後に発表する震度の推計値（1km メッシュで推計し面的に発表する震度）が、現地の実際の震度に対応している割合をいう。原則として、最大震度が5強以上となった地震を対象に、震度5弱以上の推計震度と現地の実際の震度とを比較して、合致率を算出する。</p> <p>地震の揺れにより被害が予想される地域とその被害の程度を推計できる震度情報は、地震発生直後の的確な応急防災活動を支援するものであり、地震災害による被害の軽減に関連する指標とする。</p>				
<p>目標設定の考え方</p> <p>1 km メッシュで推計し面的に発表する震度（推計震度分布）は、14 年度から発表を開始する予定である。現況値として扱えるもので、近年の地震を対象に予備的に算出した精度（50%）があるが、当面、望ましい精度として70%まで向上させることを目標とする。今後、精度向上に向けて、推計震度の算出手法の改善や地表付近の地盤データの品質改善を行うとともに、面的震度情報の提供開始後の実績を踏まえて適時に目標値の再設定を行う。</p>				
（参考）過去の実績値				（備考）
H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2
				（ 5 0 ）
				H12 は、鳥取県西部地震に対して予備的に算出した精度